

滋賀県平和祈念館 年報

第 9 号

(令和 2 年度)



はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として開館し、その後、県民のみなさまのはばひろいご支援により順調に活動をひろげ、以来 9 年を経過しました。この間の本館の活動については、『滋賀県平和祈念館 年報』第 1 号を平成 25 年 12 月に刊行し、その後は各年度の活動について、それぞれ『年報』にまとめ、報告してきたところです。

本号では令和 2 年度の活動をまとめていますが、周知のように、新型コロナウイルス感染症の流行により、年度当初の 4 月、5 月は臨時休館の措置をとらざるをえず、また集会型の普及啓発事業の催しは延期や企画中止となり、県民のみなさまにはたびかさなるご心配とご期待にそえなかったことを、この場をかりて深くおわび申し上げます。

さて、本館の運営にあたっては「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本方針のもとで、県民のさまざまな戦争体験を語りつぐ事業として、資料収集保存をはじめ、展示、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

令和 2 年度の企画展示事業としては、前年度夏季から公開した第 25 回『守山空襲』を臨時休館のため 7 月まで延長公開し、ひきつづき第 26 回『兵士を襲った感染症と飢餓—インパール作戦とビルマー』を 11 月まで、その後は第 27 回『戦争と教師たち—学校・子どもたち・戦場』を、そして前年度末から令和 3 年の前半にかけて第 28 回『戦争が終わって—海外からの復員と引揚げ—』を公開しました。いずれも現在のわたしたちに身近な問題を取り上げており、うちつづくコロナ禍にもかかわらず、多くの来館者を迎えることができました。またこれに関連して、かねて計画していたリニューアルを実施し、『基本展示』のコーナーは拡大・充実いたしました。

令和 2 年度の普及啓発事業では、子供向けの事業の『へいわの学校あかり』は 5 回の中止をふくめ通年開催し、『平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール』も 462 点の応募があり例年どおり実施することができました。

しかしながら一般向けの平和学習講座は、企画中止や延期が相次ぎ、舞鶴引揚記念館の長嶺睦氏の講演会のみにとどまりました。これらを補うかたちで『映画上映会』は、同一作品を日をかえて 2 度上映するなど工夫したところです。

本館では開館以来ボランティア活動もさかんで、現在の登録メンバーは 46 名で、7 つのグループ活動があり、本館のさまざまな事業で協働がすすんでいます。

開館以来実施しております、戦争体験聞き取り調査や資料の収集などの事業は例年どおりすすめており、戦争体験者の映像記録化の事業も着実にすすめ、常時公開できる体制をととのえています。

これからも祈念館にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和 3 年（2021 年）7 月

滋賀県平和祈念館館長 端 信行

目 次

はじめに

I 事業概要

1 展示事業

- (1) 基本展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 企画展示関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (4) 特別企画展示（エントランスバナー）・・・・・・・・ 5
- (5) 地域交流室展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 収蔵展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (7) 図書・映像コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (8) 他館（市町）との連携展示・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (9) その他の展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

2 資料収集保存事業

- (1) 戦争体験聞き取り調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (2) 収蔵資料の整理・保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

3 普及啓発事業

- (1) 開館9周年記念事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (2) 大人のための歴史教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (3) 戦争体験を聞く会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (4) フィールドワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (5) 平和を祈念する日事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (6) 館長講座「平和塾・つなぎ人（びと）」・・・・・・ 16
- (7) 映画上映会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (8) 平和の学校あかり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (9) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール・・ 21

4 平和学習支援事業

- (1) 来館学習の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (2) 滋賀県平和祈念館へいわの子事業・・・・・・・・・・・・ 24
- (3) 出前授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (4) 地域への平和学習支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- (5) 資料の貸出による平和学習支援・・・・・・・・・・・・ 26
- (6) 戦争体験者証言映像の制作・・・・・・・・・・・・・・ 27

5 ボランティア活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

II 資料

- 1 利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 2 事業スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 3 広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 4 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 5 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
- 6 新型コロナウイルス感染症関連・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 7 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- 8 利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 9 関係規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

I 事業概要

1 展示事業

(1) 基本展示

基本展示は、滋賀県民と戦争のかかわりや地域における戦争の影響など、かつて滋賀県の人々が経験した 15 年に渡る戦争全体を概観する内容となっており、年間を通して見学できる常設の展示となっている。

展示は滋賀県の地域ごとに戦争の記憶や傷跡を紹介する「地域展示」と、収蔵資料や滋賀県民の戦争体験談を中心に据えて、県民が体験した戦争の概要を伝える「滋賀県と戦争」の 2 つのコーナーで成り立っている。「地域展示」では、地域ごとの戦時中のデータ（当時の人口、戦没者数、軍事施設、主な軍需工場、空襲被害、集団学童疎開受入れ）を壁面パネル・柱パネル・床面の滋賀県航空写真で紹介している。また、新たな取り組みとして令和 2 年 8 月 16 日より展示室スクリーンで戦争体験者の証言映像（当館が制作した『戦争証言』シリーズほか）の常時上映を行っている。「滋賀県と戦争」では、県民の方々からの寄贈資料や体験談によって、戦争や戦場での体験と当時の県内のような様子を紹介しており、コーナーの最後に現代の子どもたちの平和への願いを取り上げ、「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール」の受賞作品を世界地図ボードで紹介している。



「地域展示」



「滋賀県と戦争」

(2) 企画展示

第 26 回企画展示『兵士を襲った感染症と飢餓ーインパール作戦とビルマー』

会期 令和 2 年（2020 年）7 月 18 日～11 月 1 日

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

趣旨 アジア・太平洋戦争において、日本軍がインドのイギリス軍や中国雲南地域の中国国民党軍などと交戦したビルマ（現在のミャンマー連邦共和国）では、多くの兵士たちが十分な補給を受けられない中、飢えや感染症で亡くなったことを取り上げ、インパール作戦やその後のビルマでの戦争を中心に、戦場に蔓延したマラリアやアメーバ赤痢などの感染症に苦しめられた兵士たちの姿を体験談やモノ

資料で紹介した。

概要

【プロローグ】

戦場となったビルマの歴史的な背景とともに、ビルマでの戦争の概要などを紹介した。

【インパール作戦とビルマの戦場】

インパール作戦で飢餓状況に陥った兵士たちの姿とともに、なぜ前線に食糧が届かなかったのかをインパール作戦の体験者の証言などで紹介した。県民戦争体験者のビルマでの足取りやビルマ全体の戦争経過や元兵士の戦場となったビルマの人々に対する思いなどを紹介した。

【兵士たちの生活習慣と感染症】

兵士たちが強いられた不健康極まりない日々の生活や負傷して運ばれた病院の様子
の証言とともに、小林育三郎さんが戦場で記された日記（『ビルマ戦場日記』）など
を通して、戦場での兵士が置かれた過酷な状況を紹介した。また、その原因となった日
本軍の不十分なマラリア対策について、日本軍の防蚊装備や衛生関係の参考書を使っ
て説明した。

【兵士を襲った感染症】

マラリアやデング熱、破傷風、アメーバ赤痢、結核、コレラといった感染症につい
て、実際に感染症で苦しんだ方やその姿を目撃した方の体験談を紹介した。

【エピローグ】

戦後の引揚げによって、広がった彦根市・湖東地域でのマラリア流行とその対応に
当たった西村品造さんの体験談を、感染予防対策のために埋められた彦根城の外堀の
ことを絡めて紹介した。

第 26 回企画展示



展示の様子

第 27 回企画展示『戦争と教師たち ―学校・子どもたち・戦場―』

会期 令和 2 年（2020 年）11 月 7 日～令和 3 年（2021 年）2 月 21 日

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

趣旨

子どもたちに知恵・知識を与え、希望に満ちた未来へ導く職業である教師は、戦争中、『国のために命を捧げる教育』を行うことを命じられた。授業で軍人や国民としての心構えが教えられた時代にあって、教師たちは、学び・教えてきた教育と過酷な戦争の現実の中で迷い・苦悩した。

展示では、国が指導した教育を正しいことと信じて、子どもたちを戦場へと導いた教師や、「敵国の文化にも良いものがある」と信念に従い、職を賭して授業で英語の詩を教えた教師、滋賀県への集団学童疎開のための引率や学校への空襲などの子どもたちに降りかかる厳しい戦争の現実に対して、身を挺して子どもたちを守ろうとした教師たち、徴兵によって自らも『兵士』として戦地へおもむき、亡くなられた教師や師範学校生など、戦争に翻弄された教師や教師を志した人々の姿を体験談やモノ資料で紹介した。

概要

【戦時下の学校と教師たち】

戦時中の学校の様子や教師たちの姿（学校教練や軍隊式の理不尽な暴力、軍隊への志願強要など、時流に反して自分の信念を貫く姿）を関係者や当時の教育を受けた方々の体験談を中心に紹介した。

戦争犠牲者（戦傷病者や戦争未亡人）に対しての国による顕彰や、それによって行われた戦争犠牲者への教員養成について、資料・体験談で紹介した。

滋賀県への集団学童疎開や戦地からの集団疎開、空襲、学徒勤労動員における教師の引率者・保護者としての側面を体験談や資料を使って紹介した。

【戦地へ向かった教師・学生たち】

兵役法の改正により、教師・学生が徴兵・志願兵として戦場へ送られることとなったことを紹介し、そうした人々の出征時の気持ちの揺れ動きや想いを体験談で紹介した。また、戦死した教師や、教師を目指しながら特攻により戦死した学生について、追悼文集や友人との手紙などを使って紹介した。

【教科書に見る戦争と戦後】

当時の教科書（国民学校の教科書・墨塗り教科書など）を使って戦争中や終戦直後、戦後の教育の移り変わりを紹介した。

【教師たちの戦後】

GHQ の指令による教育の改革のなか、新たな教育方針にとまどう当時の教師たちの姿や、戦争による荒廃からの復興へ向けた子どもたちの決意とそれを願う教師の希望について、体験談や戦死した教師への追悼作文を使って紹介した。



第 27 回企画展示



展示の様子

第 28 回企画展示『戦争が終わって ―海外からの復員と引揚げ―』

会期 令和 3 年（2021 年）3 月 3 日～6 月 20 日

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

趣旨

展示では、多くの県民が戦後を迎えた地域（中国南部、満洲、フィリピン、ビルマ）を中心に、終戦を海外で迎えた軍人や民間人の苦難に満ちた復員・引揚げと捕虜収容所での生活に焦点を当てて、体験談やモノ資料を紹介した。

概要

【プロローグ 玉音放送の流れるなかで】

県内の日本軍捕虜収容所での終戦や、夫の復員を待ち続けた田中もとさんの終戦直後の想いを紹介した。

【終戦 捕虜収容所へ】

終戦後の戦場での兵士たちの体験とともに、武装解除後に送られた各国の捕虜収容所での生活を体験談とモノ資料で紹介した。兵士たちが送られた各国の捕虜収容所では、中国やフィリピン、ビルマ、ソ連など各国の思惑により、待遇や帰国までの期間に大きな差があったことを体験談や資料を使って紹介した。

【引揚げ 遠い祖国へ】

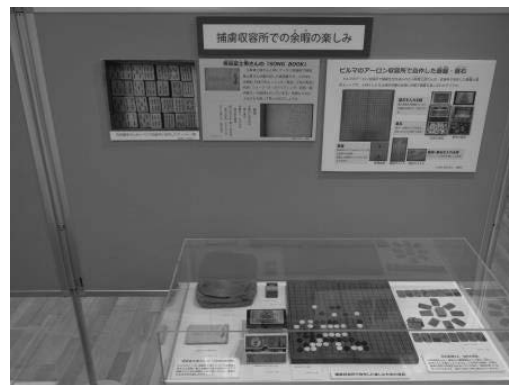
民間人の強制収容と引揚げについては、カナダやフィリピンでの日系移民強制収容に触れ、特に凄惨な引揚げとなったソ連占領地域（満洲（中国東北部）・朝鮮北部）の戦後の混乱から引揚げを中心に上げ、ソ連軍撤退後の中国共産党軍による民間人の留置や中国残留孤児問題にも触れることとした。

【帰郷 ふるさとで待つ人々のもとへ】

復員した兵士と家族との再会の様子とともに、戦地で亡くなられた方を待つ家族の悲しみを紹介し、戦争が多くの人に終わらない悲しみを与え続けることを伝えた。



第 28 回企画展示



展示の様子

(3) 企画展示関連事業

令和2年度はコロナ感染症の蔓延を受けてフィールドワークの実施を見合わせた。

(4) 特別企画展示（エントランスバナー）

第9回特別企画展示「ふるさと」

会期：令和2年（2020年）4月1日～令和3年（2021年）3月31日

会場：滋賀県平和祈念館エントランス

趣旨

昭和初期に山本山（長浜市湖北町山本）から湖北平野を写した写真を6面のバナーとして展示した。この写真には、青々と育った稲が揺れる水田の中、人々が住む集落が点在し、背後には豊かな水をたたえる琵琶湖や湖に浮かぶ竹生島（右側3面目）といった人々の営みと周囲の自然が一体となった湖国の美しい風景が記録されている。

戦時中、多くの方々がふるさとの風景を目に焼き付けて、戦地におもむき、戦地で亡くなられた。この写真を通じて、家族や親しい友人の待つ故郷に二度と帰ってこられなかった方々の想いを来館者に感じてもらうきっかけとなることを目指した。



エントランスバナー

(5) 地域交流室展示

「新作 戦争体験者 証言映像 2019 上映」

期間：令和2年（2020年）3月25日～6月28日

事業概要：昨年度制作した戦争体験者証言映像をより広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に証言された5名の方が語る内容を紹介するパネルを展示した。



「ヒロシマ・ナガサキ ミニミニ原爆展」

期間：令和2年（2020年）7月1日～8月30日

事業概要：長崎原爆資料館から、「ミニミニ原爆展」開催用のデータを借用して、原爆被害の概要及び広島・長崎の被災資料写真、被爆後の惨状写真、被爆者の写真など20点を展示した。



「戦時中の体験 触れる 感じる そして考える」

期間：令和2年（2020年）9月2日～12月20日

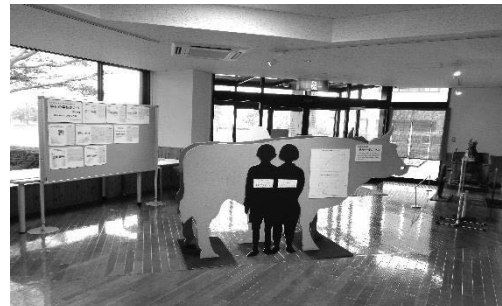
事業概要：背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米などの体験を通して学ぶ展示を企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて、展示のみ行った。



「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

期間：令和3年（2021年）1月6日～3月28日

事業概要：各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（34校 1617枚）を展示した。



（6）収蔵展示

収蔵展示は、県民の皆さまからの寄贈資料をもとに、毎回テーマを設けて展示するコーナーである。

「新着収蔵資料展」

県民の皆様から寄贈いただいた資料を通して、戦時中の滋賀の様子を伝えるとともに、ご家庭や地域にある資料や情報の提供を求める展示とした。

展示期間：令和2年（2020年）1月8日～令和3年（2021年）2月21日



「水原五郎作さん展」

昭和17年（1942年）に2回目の出征をし、フィリピンで戦死された水原五郎作さんの遺品を中心に、水原さんとご家族の戦時及び戦後の体験を紹介した。戦地

で家族を想う五郎作さん、戦地の夫のことを案じる妻や両親、それぞれの思いを遺品や手紙を通して伝えた。

展示期間：令和2年(2020年)5月13日～11月1日



「～19歳で戦死した大橋健二さんの遺品と共に～」

海軍飛行兵の大橋健二さんは、昭和19年(1944年)10月14日、19歳で戦死した。県立八幡商業学校から海軍甲種飛行予科練習生を経て実戦部隊へ配備され、南方の米軍の艦船へと飛び立った大橋健二さん。その遺品を中心に、残された家族の想いと生涯をかけて兄・健二さんの戦死と平和を訴えた弟・大橋郁夫さんを紹介する。

展示期間：令和3年(2021年)3月3日～10月10日(予定)





(7) 図書・映像コーナー

来館者自らがより深く、滋賀県民の戦争体験や平和の尊さについて学べる資料や、親子で戦争と平和について語り合うための図書・教材を提供するため、新規書架・映像機器（DVD視聴機材1基・映像視聴用パソコン1基）を令和2年度より図書・映像コーナーに新たに設置した。

※現在、新型コロナウイルスの感染収束までの期間、運用を停止中。

1) 図書コーナー

解説書や絵本、児童書などを自由に手に取って読める開架図書とし、寄贈図書の一部（関係書籍・手記などの一部）を閉架図書として、来館者の館内閲覧利用に供する。

2) 映像コーナー

当館制作の戦争体験者証言映像や購入映像作品（閲覧利用可能な映画作品など）を希望者に映像ブースでの視聴利用に供する。（視聴は館内での個人利用に限定。）

(8) 他館（市町）との連携展示

①守山市

タイトル：『平和のよろこび展』

主催：守山市

会期：令和2年（2020年）7月30日～8月7日

会場：守山市民ホール1階

入館者数：827人

内容：守山市からの協力依頼を受け、令和元年度に当館が企画した第25回企画展示『守山空襲 一戦場となった滋賀県一』を守山市民ホールで守山市主催の『平和

のよろこび展』として開催した。なお、開催にあたっては守山市遺族会の協力を得た。

②沖縄県平和祈念資料館

タイトル：令和2年度特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」

主催：沖縄県平和祈念資料館

会期：令和3年（2021年）2月13日～3月28日

会場：沖縄県平和祈念資料館1階企画展示室

入場者：3,369人

内容：沖縄県平和祈念館が、当館の第15回企画展示『少女たちが綴った『学級日誌』～戦時中の滋賀県瀬田国民学校五年智組～』（平成28年度を開催）を参考として、令和2年度特別展を制作するのにあたり、依頼を受け、企画段階から協力をを行った。展示には写真データを含めて42点（実物資料37点）の貸出を行った。



沖縄県平和祈念資料館 令和2年度特別展示チラシ

(9) その他の展示

県庁・県立図書館でのパネル展示

滋賀県平和祈念館で開催した企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を県庁新館・本館の3階渡り廊下展示スペース、本館1階県民サロンおよび県立図書館談話室において開催した。

1) パネル展示「写真週報に見る戦時下の女性」(前編、後編)

会 期	会 場
令和2年6月24日～7月6日	県立図書館談話室
令和2年8月5日～8月16日	

2) パネル展示「守山空襲－戦場となった滋賀県－」

会 期	会 場
令和2年7月13日～8月17日	県庁3階渡り廊下
令和2年8月18日～9月16日	県庁1階県民サロン
令和2年11月11日～11月23日	県立図書館談話室

3) パネル展示「兵士を襲った感染症と飢餓－インパール作戦とビルマー」

会 期	会 場
令和2年12月3日～令和3年1月11日	県庁3階渡り廊下
令和3年1月12日～令和3年2月11日	県庁1階県民サロン

4) パネル展示「戦争と教師たち－学校・子どもたち・戦場－」

会 期	会 場
令和3年3月22日～令和3年4月21日	県庁2階渡り廊下
令和3年4月22日～令和3年5月21日	県庁1階県民サロン

2 資料収集保存事業

(1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦時中の体験について聞き取り調査を行っている。聞き取り調査は、開館以前の平成5年度から継続して実施しており、資料寄贈のみの場合も含めて2千2百人以上の協力を得ている。

体験者の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、国民学校や銃後と言われた国内での体験が増える傾向にある。

令和2年度の聞き取りに関する調査件数は123件あり、その内24件29名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の件数は22件であり、資料寄贈のみで体験談の付随しないものは74件であった。この他、資料調査に係るものが3件であった。

体験談の内容では、中等学校生徒の勤労働員や軍需工場での勤労等銃後の体験が80%を占め、次いで軍隊の体験が約14%を占めた。開拓団等海外生活に関するものが約6%であった。

～令和2年度戦争体験聞き取り調査事例～

彦根高等女学校生徒の学徒動員 -三菱電機名古屋製作所へ-

竹中初子さん＝東近江市＝

竹中初さんは、彦根高等女学校に昭和16年(1941年)に入学します。その年の12月には日米間等に戦争が始まり、これまで続いていた日中戦争下での生活がより厳しいものとなっていきます。彦根高等女学校でも、氷上をはだして歩いたり、教練など、戦時下での厳しい学校生活となりました。当初は余裕のあった各地の戦線の状況も年を追って厳しいものとなり、国民総動員が求められるようになります。昭和19年(1944年)9月に、4年生となっていた竹中さんたちも、三菱電機名古屋製作所に学徒動員となります。

製作所での仕事は、飛行機の部品を旋盤で作っていくなど初めての事が多く、緊張した日々が続きました。朝、寮から工場まで行く時は軍歌などを歌いながら隊列を組んでいくのでした。食事也十分でなく、いつもおなかがすいていました。

竹中さんたちのそんな毎日は、年が変わるとさらに厳しいものとなっていきます。日本各地に空襲が始まり、軍需工場であった名古屋製作所も攻撃の標的になり、激しい空襲を受けることとなります。空襲警報の発令で防空壕へ逃げ込む日が多くなり、寝るときも服を着て、靴を履いたままで寝ることもありました。

友だちの大橋さんは、空襲の時爆弾の破片が足に当たり大きなけがをしました。空襲が終わった後の街の様子は、死んだ人や怪我をした人などもいて、悲惨な状態になりました。そして、工場は近郊に疎開になります。

昭和20年3月に卒業となりますが、簡単な卒業式が工場で行われたただけでした。竹中さんは学校へ進学するということができたが、多くの友達が終戦までとどまっていたのでした。竹中さんが大切に持っている学校の成績表の評価欄には、この間のことは「勤労」と書かれています。

(2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦時の滋賀県に関連する資料 50,000 点以上を所蔵し、その整理、保管を行っている。令和 2 年度は、新たに 3,332 点の資料を収集した。収集した資料のほとんどは、県民の皆様が所蔵しておられたものである。

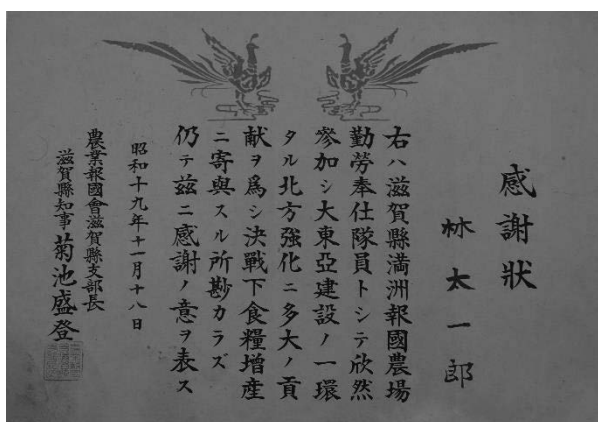
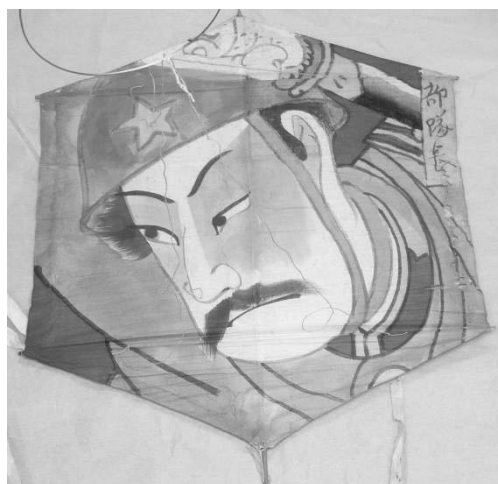
近年、戦争体験者の子・孫世代の方々からのご寄贈が増えた。ご寄贈品をよく知る方は減ってきているが、祖父母の戦争体験を語っていただく方も少なくなく、ご家族で大切に思い、継いできたことがわかる。また、地域やご親族の戦争資料を後世に伝えていくために、ご寄贈を促すよう声をかけてくださる方もおられる。これまで県民の皆様が継いできた品々を後世に伝えていくために、適切な保存と収蔵に務める。

～令和 2 年度受け入れ資料の事例～

凧 (部隊長の絵)

戦時中、百貨店で販売していたものを購入したものである。凧には陸軍の兵士が描かれ、右上には「部隊長」と記してある。当時の子どもたちの遊び中に戦争の影響がうかがえる品物である。

彦根市 野村 善一さん 提供



感謝状

滋賀県は、食糧増産のために満洲の琿春（今の中国東北部）に報国農場をつくり、勤勞奉仕隊を送った。林太一郎さんは、昭和 19 年（1944 年）の 4 月渡満し、同年秋頃に帰郷した。その時の感謝状である。

栗東市 林 悦子さん提供

3 普及啓発活動

(1) 開館9周年記念事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを縮小し、平和学習講座のみとした。

平和学習講座

開催日時 令和3年(2021年)3月14日(日) 13:30~15:00

講義内容 「ヒトとモノのコラボで史実の継承」

講師 長嶺 睦 氏(舞鶴引揚記念館 学芸員)

受講者 34名



事業概要

これまで戦争の記憶は体験者によって伝えられてきた。体験者が減少する中で、体験者の記憶をヒトが伝えると同時に、戦時下の資料や慰霊碑などモノによる史実の継承にもフォーカスして、ヒトとモノのコラボによる戦争の記憶の継承の必要性が高まっている。舞鶴引揚記念館の活動を例に、ヒトとモノのコラボによる史実の継承について講演いただいた。

(2) 大人のための歴史教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを延期した。(次年度に開講予定)

開催日時(当初) 令和3年(2021年)1月16日(土)、2月20日(土)

各回ともに 13:30~15:00

講師 立命館大学食マネジメント学部長

教授 朝倉 敏夫 氏

事業概要 2回連続講座「食から日韓の近現代史を考える」

第1回 「植民地期の『味の素』」

第2回 「サハリンのキムチ」

立命館大学食マネジメント学部長・教授の朝倉敏夫氏を講師に迎えて講義をしていただく予定であった。

(3) 戦争体験を聞く会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを中止した。

(4) フィールドワーク(岩脇蒸気機関車避難壕現地見学会)

開催日時 令和2年(2020年)11月21日(日) 10:30~11:30

会場 米原市岩脇1621 岩脇山周辺

事業概要 岩脇まちづくり委員会より藤本伝一氏を講師・ガイドに迎えて、現地見学会を開催した。

参加者数 21名

(5) 平和を祈念する日事業

開催期間 令和2年(2020年)8月8日(土)～8月16日(日)

期間中来館者 1,495名

事業概要

8月8日～16日の期間、【平和を祈念する日事業 平和祈念week 戦後75年 未来へとつづく平和の燈】として、上映会等を開催した。

9日間を通して、3日間ごとに当館作成の戦争証言映像(戦争証言2019、戦争証言2018、戦争証言2017)を1階基本展示横スクリーンにて上映した。2階研修室では、上映会を毎日行った。「特攻～なぜ拡大したのか～」(NHKスペシャル)を8日、11日、14日、「戦慄の記録インパル」(NHK)を9日、12日、15日、「カラーでみる太平洋戦争」(NHKスペシャル)を10日、13日、16日にそれぞれ定員20名で上映した。

また、特別上映会として、事前告知をせずに、アニメ「火垂るの墓」を定員20名で上映した。15日の正午には館内放送にて黙祷の後、館長より平和祈念メッセージを館内来館者向けに放送した。また、期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作ったあんどんを1階ロビーに並べ、ライトアップした。



イベントチラシ

(6) 館長講座「平和塾・つなぎ人(びと)」

開催日時 原則、毎月第2土曜日 14:00～15:30 (ただし、8月は休講)

令和2年(2020年)6月13日、7月11日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日、令和3年(2021年)1月9日、2月13日、3月13日

参加者 延べ34名

事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむなか、つなぎ人(語り部)の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、昨年度から新たに「平和塾・つなぎ人(びと)」として開始した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大のため、

4月と5月は休講とした。

(7) 映画上映会

今年度も毎月1回、13時30分から研修室で上映した。今年度は、定員を20名とし、申込が多数の場合は、翌月に再上映会を実施した。

- 4月26日(日) 映画「STAR SAND 星砂物語」
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 5月24日(日) 映画「麦秋」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 6月28日(日) 映画「せんせい」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 7月26日(日) 映画「はだしのゲン」アンコール9位作品 参加者18名
※再上映会 8月5日(水) 10時～
参加者4名、13時30分～ 参加者15名
- 8月23日(日) NHKスペシャル「きのこ雲の下で何が起きていたのか」
参加者21名
※再上映会 9月2日(水) 10時～ 参加者3名、13時30分～ 参加者10名
- 9月27日(日) 映画「アンネの日記」アンコール8位作品 参加者21名
※再上映会 10月7日(水) 13時30分～ 参加者15名
- 10月25日(日) 映画「完全なるチェックメイト」 参加者12名
※再上映会 11月12日(木) 13時30分～ 参加者9名
- 11月29日(日) 映画「土と兵隊」 参加者38名
※再上映会 12月2日(水) 13時30分～ 参加者18名
- 12月20日(日) 映画「イミテーション・ゲーム エニグマと天才数学者の秘密」 参加者53名
※再上映会 1月13日(水) 13時30分～ 参加者2名
- 1月24日(日) NHKスペシャル「本土空襲全記録」 参加者20名
※再上映会 2月10日(水) 13時30分～ 参加者11名
- 2月21日(日) 映画「STAR SAND 星砂物語」 参加者18名
※再上映会 3月3日(水) 13時30分～ 参加者13名
- 3月21日(日) NHKスペシャル「激闘ガダルカナル 悲劇の指揮官」
参加者41名



映画上映会の様子

(8) 平和の学校あかり

開催日

前期講座：令和2年（2020年）（5月23日中止）、（6月7日中止）、（7月19日中止）、7月23日（木）、7月26日（日）、8月1日（土）、8月6日（木）、8月10日（月）、（8月22日中止）

後期講座：令和2年（2020年）10月4日（日）、11月14日（土）、12月5日（土）、令和3年（2021年）2月13日（土）、（3月14日中止） 計9講座実施

前期募集案内

後期募集案内

会員数 23名 延べ参加者 105名

事業内容

- ①「平和の学校あかり開校講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】」（5月23日）
新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて、開催を中止した。
- ②「育てて食べよう戦時食①」（6月7日）
新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて、開催を中止した。
- ③「戦時食調理体験『すいとん』を作って食べよう」（7月21日）
新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて、開催を中止した。
- ④「教えて戦争体験Ⅰ【集団学童疎開と大阪大空襲】」（7月23日）
戦時中、滋賀へ疎開し、その後大阪に戻り、大阪大空襲にあわれた中原敏雄さんに、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も設けた。



講座の様子

- ⑤「学芸員による子ども向け展示説明講座」（7月26日）

リニューアルされた基本展示について、学芸員から実物資料などを見ながら説明を聞き、より深く戦時の滋賀のようすについて学ぶ機会として実施した。



展示説明の様子

⑥「作ろう戦時のおもちゃ【俵型お手玉】」(8月1日)

戦時中、子どもたちが遊んだ「お手玉」を製作し、当時の子どもたちやお家の人の気持ちを考えた。



お手玉作りの様子

⑦「アニメで学ぶ戦争【ヒロシマに一番電車が走った】」
(8月6日)

地域交流室展示「ヒロシマ・ナガサキミニミニ原爆展」を見学した後、アニメ映画「ヒロシマに一番電車が走った」の視聴を通して、戦争と平和について考えた。



⑧「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」(8月10日)

実際に長崎で被爆された大村信代さんを講師に招き、ご自身の体験をお話していただいた。最後には、質疑応答の時間も設けた。



講座の様子

⑨「戦跡めぐり in 大阪」(8月22日)

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて開催を中止した。

⑩「育てて食べよう戦時食②」(10月14日)

戦時食についてボランティアからの説明を聞いて学び、あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモを収穫する体験を実施した。



戦時食についての説明



サツマイモの収穫

⑪「平和学習講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】（11月14日）」

前期中止となった館内見学やバックヤードツアーをした後、ワークシートに取り組みながら館内の展示見学を行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



見学の様子

⑫「平和への願いを込めて、エコキャンドルをつくろう」（12月5日）」

ロビーにある平和の燈について説明した後、近隣施設の菜の花館でエコキャンドルづくりを実施した。



キャンドルづくりの様子

⑬「発信！わたしの平和への思い」（2月13日）」

平和の学校あかりに参加して戦争について知ったことやそれぞれが抱いた平和への思いを新聞などにまとめた。



活動の様子

⑭「平和の学校あかり体験報告会」（3月15日）」

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、開催を中止した。

(9) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

展示期間 令和2年(2020年)11月1日(日)～令和3年(2021年)1月31日(日)

表彰式 令和2年(2020年)10月31日(土)

事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校17校から462作品の応募があった。

入賞者

	学校名	学年	氏名
ピース賞(小学校)	甲賀市立 甲南中部小学校	第5学年	枇杷田 天音
ピース賞(中学校)	東近江市立 船岡中学校	第3学年	福山 心結
ハート賞(小学校)	甲賀市立 甲南中部小学校	第6学年	吉川 栞理
ハート賞(中学校)	県立水口東中学校	第3学年	生駒 涼花
オリーブ賞(小学校)	大津市立堅田小学校	第6学年	中村 凜乃杏
オリーブ賞(中学校)	比叡山中学校	第3学年	吉村 香成美

※各賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

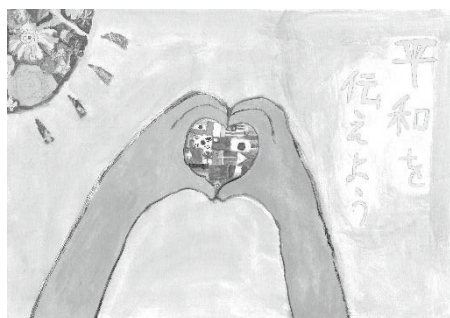
ピース賞

作品

制作者の思い

(小学校)

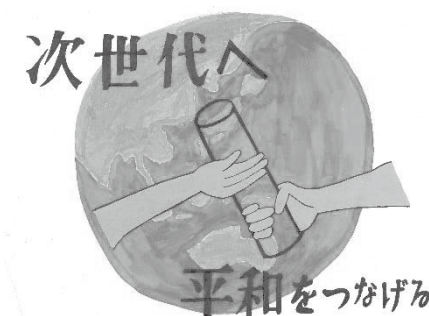
甲南中部小
枇杷田 天音



世界の国々の人達が戦争や人種差別などなくなって、みんな仲良く平和になってほしい。

(中学校)

船岡中
福山 心結



現在、戦争体験者の高齢化が問題になり、戦争の記憶が薄れているように感じたので、「次世代へ、平和をつなげないといけない」という思いを込めました。世代を超えて、戦争の事実を伝えることで、平和な社会が生まれると思います。

ハート賞

作品

制作者の思い

(小学校)

甲南中部小
吉川 栞理



青い空は、戦争のない平和な空をあらわしました。その空の下で平和をよるこんでいる人がピースをかかっています。白い鳥が飛ぶ下には、きれいなレインボーの花がつらなっています。

(中学校)

水口東中
生駒 涼花



平和を表した鶴と破滅を表した鶴、二つとも、一人一人の手の中にいて、他人事ではないということを伝えている。一人一人の小さな意思が集まって、平和な世界につながってほしいという願いも込めた。

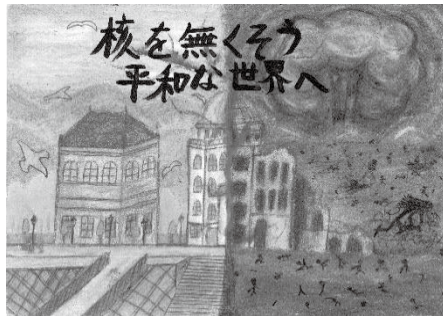
オリーブ賞

作品

制作者の思い

(小学校)

堅田小
中村 凜乃杏



私は、原爆について調べました。もし、原爆が落ちていなければ、今の日本の世の中はなかったかもしれません。しかし、原爆はとてもおそろしく、世界からなくなってほしいです。この絵は、原爆がもし、広島に落ちていなかったらどうなっていたのかを想像して描きました。この原爆でたくさんの人の命がうばわれました。このようなことが二度と起こらないことを私は願います。

(中学校)

比叡山中
吉村 香成美



平和をイメージして描きました。“幸せ”“平和”などの花言葉をもった、バラ、スズラン、ガーベラなどたくさんの花で鳩を描いて、平和の象徴ともいえるオリーブの葉をくわえさせました。

4 平和学習支援事業

(1) 来館学習の支援

来館学校数（実績）

	総 数	小学校	中学校	高等学校
学 校 数	83 校	74 校	8 校	1 校
児 童 ・ 生 徒 数	4,806 人	3,988 人	798 人	20 人

主な学習方法

- ・ 展示見学
学校作成のワークシートや当館職員が作成した見学シートを用いて調べ学習
- ・ 館職員による平和学習
- ・ 戦争証言映像視聴



来館学習での様子（東近江市内の中学校）

(2) 滋賀県平和祈念館へいわの子事業

新たな平和学習プログラムの開発に取り組み、現地見学を設定したこれまでより深く平和について考える来館学習プログラム「滋賀県平和祈念館へいわの子事業」を実施して、2年目を迎えた。また、この事業への児童等の参加を支援するため、「滋賀県平和祈念館へいわの子事業補助金交付要綱」を定め、事業参加に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。

へいわの子事業実施校 実績

湖南市立三雲小学校	児童数 88 名	引率者数 5 名	計 88 名
日野町立南比都佐小学校	児童数 10 名	引率者数 2 名	計 12 名
彦根市立平田小学校	児童数 35 名	引率者数 4 名	計 39 名
大津市立仰木小学校	児童数 16 名	引率者数 2 名	計 18 名
		事業参加者数	計 157 名

主な学習方法

- ・ 館職員による平和学習講座



(平田小学校)

- ・ 展示見学 (館職員が作成したワークシートを用いての調べ学習)



(三雲小学校)

- ・ 戦争体験者証言映像の視聴



(仰木小学校)

- ・ 戦跡見学

(3) 出前授業

出前授業実施校数 (実績)

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	98校	78校	14校	4校	2校
児童・生徒数	8,239人	6,055人	1,212人	792人	180人

主な学習方法

- ・ 実物や写真・動画の提示
- ・ 体験談の提示
- ・ 資料観察



出前授業での様子 (近江八幡市内の中学校にて)

(4) 地域への平和学習支援

戦後 75 年が経ち、「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた 5 年前と比べると、若干意識が低くなっているように感じる。今後、さらに戦争を体験していない世代が増え、「子どもたち」とともに「戦後生まれの大人」への語り継ぎが重要となることを踏まえて、地域の自治会での研修など各種団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前講座を実施した。

令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、地域の人権研修の機会が減少した。9 団体、223 人の利用があった。

主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」



出前講座での様子（地域の人権研修にて）

(5) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、戦争体験者証言映像の貸出を行っている。

学校への貸出の傾向としては、9 月から 1 月に、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、夏期が多く、パネルや「戦争体験者証言映像(2019)」の貸出数が多かった。

令和 2 年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2020)」を制作し、令和 3 年度から貸出を始める。

○資料貸出しの実績

- ①学校への貸出 29 校（小学校 21 校、中学校 8 校）
- ②地域への貸出 32 件

○貸出資料の種類

- ①ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）
- ②パネル

- Aセット（16枚組）3セット
- Bセット（20枚組）3セット
- Cセット【滋賀で学ぶ戦争の記録】（16枚組）3セット
- 写真・ポスター類（64枚）

③小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット

④視聴覚資料

- ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）17本」
- ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像
「大阪から来た女の子」「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・2014、2015、2016、2017、2018、2019年度制作の戦争体験者証言映像
(DVD版・BD版)
- ・その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD

（6）戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像の製作を当館で企画し、委託事業によって制作した。平成26年度から事業を開始して、これまでに6作品を制作した。引き続き、今年度は6名の体験者にご協力をいただき、『戦争証言2020』を制作した。本作品は以下の6本の映像にまとめている。

本作品は館内での閲覧のほか、希望者への貸出も行っている。

『戦争体験者証言映像 戦争証言2020』DVD・Blue-ray

「地獄だったビルマ戦線」	山本 栄策さん	(10分)
「青春の思い出 軍事郵便」	杉本 智恵子さん	(10分)
「海軍特別年少兵への志願」	福井 弘一さん	(10分)
「軍需工場で遭遇した模擬原爆」	井上 実さん	(10分)
「戦時中の女学生」	久野 孝子さん	(10分)
「長崎の原爆が奪ったもの」	大村 信代さん	(10分)

戦争体験者 証言映像 DVD Blu-ray

戦争を体験した私からあなたへ
不戦の願い

戦争証言 2020

戦争を経験された方の貴重な体験を聞く機会が少なくなりつつあります。
滋賀県平和祈念館では、貴重な戦争体験者のお話を映像として残すとともに、
戦争の記憶を語り継ぎ、平和の想いを学ぶための資料として証言映像を作成しました。

滋賀県平和祈念館

戦争体験者 証言映像 戦争証言2020 【映像内容】

映像 1 地獄だったビルマ戦線 【証言者】 鈴木 実雄 81歳	10分
映像 2 青春の思い出 軍事郵便 【証言者】 鈴木 雅彦 78歳	10分
映像 3 海軍特別年少兵への志願 【証言者】 藤井 浩一 84歳	10分
映像 4 軍需工場で遭遇した横濱原爆 【証言者】 井上 実 64歳	10分
映像 5 戦時中の女学生 【証言者】 丸野 孝子 86歳	10分
映像 6 長崎の原爆が奪ったもの 【証言者】 大村 昌代 84歳	10分

戦争証言シリーズのご紹介

【戦争証言】 【戦争証言2019】 【戦争証言2018】 【戦争証言2017】 【戦争証言2016】 【戦争証言2015】

【映像の貸出し・お問・合わせ先】
映像の貸出しについてはお問い合わせください。
貸出料は無料です。
また貸出しの手数料に限りがあります。
ご了承ください。

滋賀県平和祈念館

〒527-0057 滋賀県東近江市甲賀町43番地
電話：0749-48-1171
FAX：0749-48-1172
Eメール：info@hikaridomoe.or.jp
ホームページ：www.hikaridomoe.or.jp

戦争体験者映像『戦争証言 2020』チラシ

5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成23年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。令和2年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を5月に開催し、3名の方が新たにボランティア登録をされた。秋以降は「ボランティア登録講座」を取りやめ、随時募集する形に変更した。

令和2年度末時点のボランティア登録者数は43名で、10代から80代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。ただし、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のグループが活動を休止した。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧(2畳)をつくり、平和への願いや当館の活動をPRします。



活動の様子（左：来館者案内活動グループ、右：戦時食グループ）

(1)2021(令和3年)4月号発行 平和の灯 第61号

平和の灯

戦争が終わって

海外からの復員と引揚げ

2021年4月号発行 第61号

開館10年目を迎えて
滋賀県平和祈念館 館長 堀 徹行

「戦争が終わって」海外からの復員と引揚げ。この特集は、戦争が終結した後の人々の生活や、海外からの復員兵の帰国、そして引揚げ難民の生活について、当時の記録や資料をもとに詳しく紹介しています。

「戦時食の再現」戦時中の食生活や食糧配給の状況について、当時の食糧配給券や食糧の調達方法、そして戦時食の再現について詳しく紹介しています。

「各地の戦場」各地の戦場の様子や戦況について、当時の戦況図や戦場の写真をもとに詳しく紹介しています。

「遠い祖国へ」戦時中の海外からの復員兵の生活や、引揚げ難民の生活について、当時の記録や資料をもとに詳しく紹介しています。

「アイリボンやボネマの複製販売」アイリボンやボネマの複製販売について詳しく紹介しています。

「戦時食の再現」戦時中の食生活や食糧配給の状況について、当時の食糧配給券や食糧の調達方法、そして戦時食の再現について詳しく紹介しています。

(2)2021(令和3年)4月号発行 平和の灯 第61号

平和の灯

進行業務する職員を紹介

「進行業務する職員を紹介」本誌の発行に携わっている職員を紹介しています。

研究便利

「研究便利」本誌の発行に携わっている職員を紹介しています。

新年夜の挨拶

「新年夜の挨拶」新年の挨拶や、新年の展望について詳しく紹介しています。

丸山 昭雄

「丸山 昭雄」丸山昭雄さんのインタビュー記事です。

長瀬 昭彦

「長瀬 昭彦」長瀬昭彦さんのインタビュー記事です。

史実の継承

「史実の継承」歴史の継承や、歴史の教育について詳しく紹介しています。

戦時食の再現

「戦時食の再現」戦時中の食生活や食糧配給の状況について、当時の食糧配給券や食糧の調達方法、そして戦時食の再現について詳しく紹介しています。

情報紙「平和の灯（第61号）」

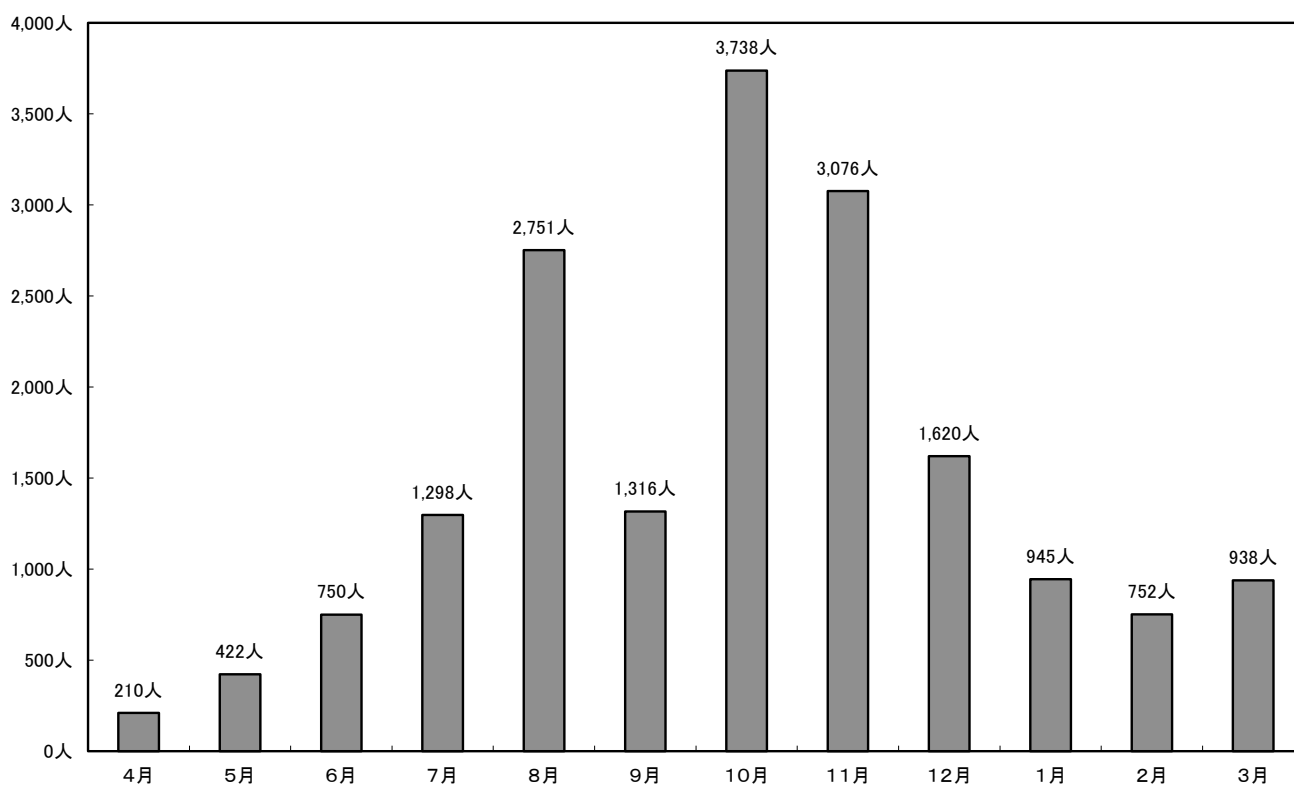
Ⅱ 資料

1 利用状況

(1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの 累計
開館日数	8日	15日	20日	24日	31日	23日	23日	20日	20日	21日	15日	21日	241日	2,346日
来館者数	210人	422人	750人	1,298人	2,751人	1,316人	3,738人	3,076人	1,620人	945人	752人	938人	17,816人	199,175人
1日あたりの 平均来館者数	26人	28人	38人	54人	89人	57人	163人	154人	81人	45人	50人	45人	74人	85人

※4月11日から5月10日までの間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館



(2) 来館学校一覧

(単位：人)

年	月	日	学 校 等 名 称	人数	
令和2	7	3	甲賀看護専門学校	37	
		9	中主小学校	120	
	9	25	日吉台小学校	30	
		30	竜王西小学校	53	
		10	びわ北小学校	13	
	10	3	山東小学校	34	
		5	岡山小学校	99	
		6	滋賀大学教育学部附属小学校	105	
		7	葉山小学校	92	
		8	御園小学校	67	
		9	三雲養護学校石部分教室	20	
		9	桜谷小学校	13	
		12	浮孔西小学校	69	
		13	笠縫小学校	120	
		14	多賀小学校	30	
		15	湖東第二小学校	33	
		15	香久山小学校	17	
		16	青柳小学校	36	
		16	湖東第一小学校	26	
		21	志都美小学校	47	
		22	八日市北小学校	66	
		23	布引小学校	40	
		23	多賀小学校	31	
		24	小野小学校	20	
		26	竜王小学校	68	
		28	坂田小学校	80	
		28	安倍小学校	63	
		29	能登川北小学校	14	
		29	今津北小学校	16	
		30	五個荘小学校	133	
		30	息長小学校	37	
		31	藤尾小学校	34	
		11	5	豊郷小学校	47
			6	箕作小学校	75
			6	葛川小学校	8
	6		甲南第一小学校	60	
	10		逢坂小学校	70	
	11		愛知中学校	149	
	12		上牧第二小学校	60	
	13		玉緒小学校	40	
	13		比叡平小学校	15	
	13		湖東第三小学校	35	
	16		金田小学校	64	
	17		金田小学校	94	
	18		双葉中学校	117	
	19		愛東北小学校	18	
	19		愛東南小学校	19	
	19		小原小学校	11	
	19		真野小学校	78	
	20		能登川東小学校	74	
20	愛東中学校		39		
21	笠縫東小学校		82		
24	安土小学校	111			
25	北大路中学校	134			
26	蒲生西小学校	76			
26	坂本小学校	77			

年	月	日	学 校 等 名 称	人数
令和2	11	27	蒲生北小学校	61
		27	北里小学校	55
		30	中州小学校	34
	12	1	速水小学校	175
		2	能登川西小学校	34
		3	市原小学校	16
		3	山上小学校	16
		4	能登川南小学校	133
		4	八日市南小学校	74
		7	大淀桜ヶ丘小学校	56
		9	下田小学校	44
		11	愛東中学校	35
		12	治田小学校	93
		16	秦荘東小学校	47
		21	日栄小学校	46
令和3	1	13	城北小学校	55
		14	稲枝北小学校	16
		14	稲枝西小学校	16
		15	三雲小学校	93
		19	南比都佐小学校	12
		21	八日市西小学校	43
		22	平田小学校	40
		26	仰木小学校	19
		27	菩提寺小学校	70
	2	4	愛東中学校	35
		12	蒲生東小学校	20
		12	玉川中学校	162
	3	17	秦荘中学校	87
85校				4,803人

(3) 出前授業実施学校一覧

(単位：人)

年	月	日	学 校 等 名 称	人数
令和2	6	3	滋賀大学教育学部	60
		9	桐原小学校	76
		23	治田東小学校	82
		24	南郷小学校	83
	7	15	大宝東小学校	71
		17	草津第二小学校	97
		28	野洲中学校	162
	8	26	瀬田小学校	81
		27	瀬田小学校	81
	9	2	水戸小学校	58
		7	多賀小学校	61
		10	長浜北小学校	143
		17	滋賀大学教育学部附属小学校	102
		17	仰木の里東小学校	75
		18	下阪本小学校	128
		23	青山小学校	166
		23	水口東中学校	80
		24	金城小学校	104
		25	仰木の里東小学校	75
		29	竜王西小学校	53
	10	1	老上小学校	94
		1	今津北小学校	16
		2	南郷里小学校	106
		5	御園小学校	67
		6	朝宮小学校	2
		8	八日市高等学校	280
		12	馬淵小学校	38
		13	老上西小学校	70
		14	守山小学校	218
		15	老上西小学校	65
		19	近江兄弟社高等学校	68
		19	吉身小学校	130
		20	長等小学校	111
		21	信楽高等学校	54
		22	野洲小学校	71
		22	新旭北小学校	35
		23	野洲小学校	70
		27	草津小学校	80
	27	真野北小学校	38	
	27	小松小学校	44	
	11	2	堅田小学校	132
		4	桐原東小学校	82
		5	愛知中学校	75
		6	愛知中学校	74
		10	瀬田南小学校	143
		11	平野小学校	207
		12	五個荘小学校	133
16		城南小学校	171	
17		北里小学校	55	
18		菩提寺北小学校	48	
26		瀬田北小学校	100	
26		県立守山中学校	80	
27		瀬田北小学校	64	

年	月	日	学 校 等 名 称	人数	
令和2	12	1	武佐小学校	37	
		4	大東中学校	86	
		7	安曇小学校	63	
		7	本庄小学校	11	
		7	秦荘東小学校	47	
		8	膳所小学校	118	
		11	治田西小学校	85	
		11	立入ヶ丘小学校	84	
		12	坂田小学校	80	
		14	びわこ学院大学	120	
		14	瀬田東小学校	167	
		15	古保利小学校	13	
		16	玉川中学校	162	
		22	葉山東小学校	86	
令和3	1	12	稲枝東小学校	67	
		12	亀山小学校	17	
		13	老蘇小学校	22	
		14	大石小学校	49	
		14	守山養護学校	10	
		18	鳥居本小学校	26	
		18	三上小学校	28	
		20	塩津小学校	7	
		20	八幡中学校	100	
		21	八幡中学校	102	
		21	希望ヶ丘小学校	98	
		25	石部南小学校	46	
		25	雲井小学校	17	
		27	富士見小学校	78	
		28	田根小学校	6	
		29	中央小学校	48	
		2	1	瀬田北小学校	82
	1		高宮小学校	103	
	2		瀬田北小学校	82	
	2		日野小学校	83	
	4		南郷里小学校	98	
	5		祇王小学校	103	
	5		稲枝中学校	90	
	8		大野小学校	18	
	9		貴生川小学校	114	
	17		晴嵐小学校	136	
	19		永源寺中学校	38	
	25		玉園中学校	59	
	26	玉園中学校	58		
	3	12	東大津高校	390	
		19	米原中学校	46	
	98校				8,239人

2 事業スケジュール

年	月	日	展示事業	催し物	備考
令和2	4	11	1/8～7/12 第25回企画展示	平和塾・つなぎ人(びと) 映画上映会「STAR SAND 星砂物語」	コロナのため中止 コロナのため中止
		26			
	5	9	3/25～6/28 地域交流室展示	平和塾・つなぎ人(びと) 平和の学校あかり前期講座 映画上映会「麦秋」	コロナのため中止 コロナのため中止 コロナのため中止
		23			
		24			
6	7		平和の学校あかり前期講座 平和塾・つなぎ人(びと) 映画上映会「せんせい」	コロナのため中止 コロナのため中止	
	13				
	28				
7		11	7/18～11/1 第26回企画展示	平和塾・つなぎ人(びと) 平和の学校あかり前期講座 平和の学校あかり前期講座【教えて戦争体験Ⅰ】 平和の学校あかり前期講座 【学芸員による子ども向け企画展示説明会】 映画上映会「はだしのゲン」	コロナのため中止 11名参加 11名参加 18名参加
		21			
		23			
		26			
		26			
8		1	7/1～8/30 地域交流室展示	平和の学校あかり前期講座 【作ろう戦時のおもちゃ 俵型お手玉】 再上映会「はだしのゲン」 平和の学校あかり前期講座【アニメで学ぶ戦争】 平和の学校あかり前期講座【教えて戦争体験Ⅱ】 平和を祈念する日事業 平和の学校あかり前期講座【戦跡めぐりin大阪】 映画上映会「きのこ雲の下で何が起きていたのか」	9名参加 19名参加 13名参加 23名参加 1,495名来館 コロナのため中止 21名参加
		5			
		6			
		10			
		8～16			
		22			
		23			

年	月	日	展示事業	催し物	備考
令和2	9	2	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 9/2~12/20 地域交流室展示 </div>	再上映会「きのご雲の下で何が起きていたのか」	13名参加
		12		平和塾・つなぎ人(びと)	21名参加
		27		映画上映会「アンネの日記」	
	10	7	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 11/7~2/21 第27回企画展示 </div>	再上映会「アンネの日記」	15名参加
		10		平和塾・つなぎ人(びと)	12名参加
		14		平和の学校あかり後期講座 【戦時食について学び、さつまいもを収穫しよう】	
		25		映画上映会「完全なるチェックメイト」	12名参加
	11	12	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 11/7~2/21 第27回企画展示 </div>	再上映会「完全なるチェックメイト」	9名参加
		14		平和の学校あかり後期講座【平和学習講座】	11名参加
		14		平和塾・つなぎ人(びと)	21名参加
		21		フィールドワーク 「岩脇蒸気機関車避難壕現地見学会」	
		29		映画上映会「土と兵隊」	38名参加
12	2	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 11/7~2/21 第27回企画展示 </div>	再上映会「土と兵隊」	18名	
	5		平和の学校あかり後期講座 【平和への願いを込めて エコキャンドルをつくろう】	10名参加	
	12		平和塾・つなぎ人(びと)	53名参加	
	20		映画上映会 「イミテーション・ゲーム エニグマと天才数学者の秘密」		
令和3	1	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 1/6~3/28 地域交流室展示 </div>	平和塾・つなぎ人(びと)	2名参加	
			映画上映会 「イミテーション・ゲーム エニグマと天才数学者の秘密」		
			13	大人ののための歴史教室 立命館大学教授 朝倉 敏夫氏 「食からの日韓の近現代史を考える」	コロナのため延期
			16		20名参加
			24	映画上映会「本土空襲全記録」	

年	月	日	展示事業	催し物	備考	
令和3	2	10	↓	映画上映会「本土空襲全記録」	11名参加	
		13		平和の学校あかり後期講座 【発信！わたしの平和への思い】	5名参加	
		13		平和塾・つなぎ人(びと)		
		20		大人のための歴史教室 立命館大学教授 朝倉 敏夫氏 「食からの日韓の近現代史を考える」	コロナのため延期	
		21		映画上映会「STAR SAND 星砂物語」	18名参加	
	3	3		↑ 3/3~6/20 第28回企画展示 ↓	映画上映会「STAR SAND 星砂物語」	13名参加
		13			平和塾・つなぎ人(びと)	
		14			平和学習講座 舞鶴引揚記念館学芸員 長嶺 睦氏 「ヒトモノのコラボで史実の継承」	34名受講
		15			平和の学校あかり体験報告会	コロナのため中止
		21			映画上映会「激闘ガダルカナル 悲劇の指揮官」	41名参加

3 広報活動

年	月	日	内 容	報道機関	
令和2	4	9	桜を追って 東近江・県平和祈念館の「被爆桜」	中日新聞	
		5	9	2020年度子ども向け体験型平和学習「平和の学校あかり」を開校します	滋賀報知新聞
			11	県平和祈念館 13日から再開	毎日新聞
	27		平和祈念館 基本展示を充実拡大	滋賀報知新聞	
	6	11	入賞のそなえ -奉公袋-	滋賀報知新聞	
		17	新しい基本展示 解説会参加募る	滋賀報知新聞	
	7	3	県民の戦争体験 より詳しく	中日新聞	
		5	第26回企画展示 兵士を襲った感染症と飢餓	滋賀報知新聞	
		6	平和祈念館 展示刷新 戦争の爪痕 より克明に	読売新聞	
		6	県平和祈念館が常設展示を新装	京都新聞	
		9	滋賀でも戦争があった	朝日新聞	
		24	県平和祈念館「インパール作戦」取り上げた企画展	毎日新聞	
	8	31	平和を祈念する日事業 「平和祈念Week未来へとつづく平和の燈」	滋賀報知新聞	
		8	2	インパール作戦とビルマ 県平和祈念館が企画展示	週刊滋賀民報
			2	お手玉づくり 戦争考える	読売新聞
			2	平和を祈念する日事業 「平和祈念Week未来へとつづく平和の燈」	滋賀報知新聞
			4	飢えと感染症との戦い 県平和祈念館の企画展	滋賀報知新聞
			7	戦闘より感染症に疲弊 インパール作戦 兵士の記録	中日新聞
			7	原爆の災禍 アニメで 県平和祈念館で学習会	毎日新聞
8			軍事郵便 資料価値に脚光	北海道新聞	
12			戦争証言まとめ映像に	毎日新聞	
13			禍を超えて 聞き取り 時間との闘い	読売新聞	
15			つなぐ戦後75年 惨事学ぶ先に希望信じ	読売新聞	
19			東近江・県平和祈念館コロナ禍 「語り継ぎ部」育成に影	京都新聞	
20			戦後75年 湖国から 危機感 今、聞かないと	朝日新聞	
9	4		真実知り、戦争繰り返さないように	毎日新聞	
	6	第26回企画展示に見る 戦争体験	滋賀報知新聞		
	18	企画展示「兵士を襲った感染症と飢餓」	読売新聞		
	21	戦死は戦闘より感染症と飢餓	おうみ通信		
10	7	滋賀県平和祈念館 ボランティアの紹介	滋賀報知新聞		
	15	戦時食体験 平和かみしめて	朝日新聞		

年	月	日	内 容	報道機関
令和2	11	5	第27回企画展示 戦争と教師たち-学校・子どもたち・戦場-	滋賀報知新聞
		13	戦時中の教師 苦悩や葛藤	中日新聞
		22	教育現場の悲劇 今に	毎日新聞
		27	平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール	滋賀報知新聞
		30	オンリーワン 戦争の記憶	毎日新聞
	12	4	「黒塗り教科書」	滋賀報知新聞
		11	県平和祈念館へ千羽鶴	中日新聞
令和3	1	6	戦争に翻弄された教師	滋賀報知新聞
		10	令和三年、コロナ禍を超えて	滋賀報知新聞
		14	学徒出陣 早大教員の思い	読売新聞
		14	「皇風萬里」親政を賛美	中日新聞
		14	早大教授ら 日の丸に寄せ書き	朝日新聞
		16	学徒出陣、文化人思想伝える	滋賀夕刊
		19	「象徴天皇制」発案の政治学者 戦中思想うかがえる「寄せ書き日の丸」	滋賀報知写真新聞
		24	戦跡を巡る ～戦禍を越えて～	大阪日日新聞
		31	戦跡を巡る ～戦禍を越えて～	大阪日日新聞
	2	7	戦跡を巡る ～戦禍を越えて～	大阪日日新聞
		10	平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
		25	史実継承テーマ 平和学習講座	読売新聞
	3	4	第28回企画展示「戦争が終わってー海外からの復員と引揚げー」	滋賀報知新聞
		5	平和への誓いを新たに 滋賀県知事 三日月 大造	滋賀報知新聞
		13	終戦後 海外で苦難 知って	朝日新聞
30		平和願い ほころぶ	読売新聞	

4 組織（令和3年3月現在）

(1) 職員

館長	端 信行
所長	村井 洋一
専門員	北原 治
副主幹	梅山 光彦
副主幹	中西 まこ
主任主事	谷澤 真也
主任主事	木村 大喜
会計年度任用職員	坂井 秀男
会計年度任用職員	日高 昭子
会計年度任用職員	近藤 恵
会計年度任用職員	杉村 陽子

(2) 職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	会計年度任用職員	合計
人数	1	3	1	2	4	11

(3) 滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端 信行	（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	中島 伸男	（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井 均	（滋賀県立大学 教授）
大長	弥宗治	（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
野瀬	隆行	（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
藤関	昭雄	（あいとうマーガレットステーション 専務理事）
山路	哲司	（東近江市企画部企画課 課長）
福島	栄寿	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
西澤	美重子	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

(4) 滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一	（佛教大学 名誉教授）
	原山 浩介	（国立歴史民俗博物館 准教授）

5 決算（令和2年度）

(1) 歳入状況

（単位：円）

科 目	決 算 額
基金繰入金	32,999,479
国庫支出金	1,430,000
諸 収 入	1,050,982
合 計	35,480,461

(2) 歳出状況

（単位：円）

事 業 名	主 な 事 業 内 容	決 算 額
管 理 運 営 費	職員費、施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	25,841,671
展 示 事 業	企画展示、特別企画展示、地域交流室展示	2,996,679
資 料 収 集 保 存 事 業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、 収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システム運用	2,416,935
普 及 啓 発 事 業	平和学習講座、映画上映会、平和の学校あかり	788,382
平 和 学 習 支 援 事 業	子どもピースメッセージ絵画コンクール、 戦争体験者証言映像制作、へいわの子事業	3,436,794
合 計		35,480,461

6 新型コロナウイルス感染症関連

(1) 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、当館においても臨時休館や各種イベントの中止・延期などの影響があった。また、戦争体験者聞き取り調査では、これまでご自宅に伺うなどしていたが、高齢の方がほとんどであることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらくの間、訪問・調査を中止せざるを得なかった。

臨時休館 期間：令和2年（2020年）4月11日（土）から5月10日（日）まで

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

当館では、新型コロナウイルス感染症対策として、滋賀県の指針に基づき、次のとおり対策を講じている。

- ① マスクの着用、手指の消毒への協力依頼
- ② 入館時に、緊急連絡先確認用紙への記入のお願い（任意）
- ③ 「もしサボ滋賀」登録のお願い
- ④ 換気の徹底
- ⑤ 3密を避けるための取り組み

・定員制の導入

映画上映会は定員を20名とし、申し込みが多数となった場合、翌月に「再上映会」を行った。他のイベントについても、定員制を導入した。

・来館者の分散

学校などの多人数の団体が来館される際には、全員が一部屋に集まらないよう、複数のグループに分けて説明や展示観覧を行うようにした。また、来館時間をずらすなどの工夫も行った。

7 施設概要

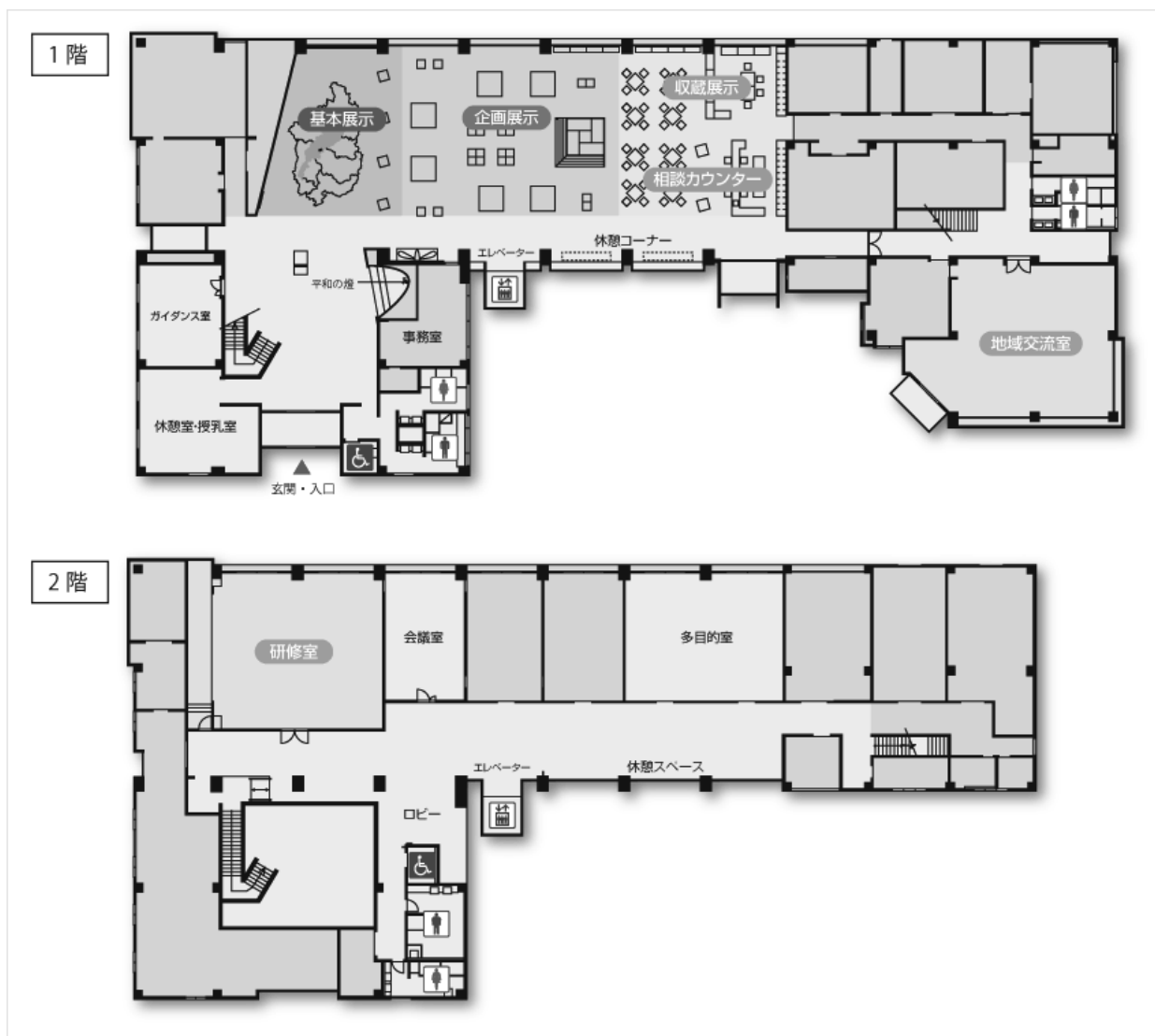
所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

建物概要

構造	鉄筋コンクリート	2階建
敷地面積	2,864.00㎡	
延床面積	3,115.45㎡	
	1階	1,759.03㎡
	2階	1,356.42㎡

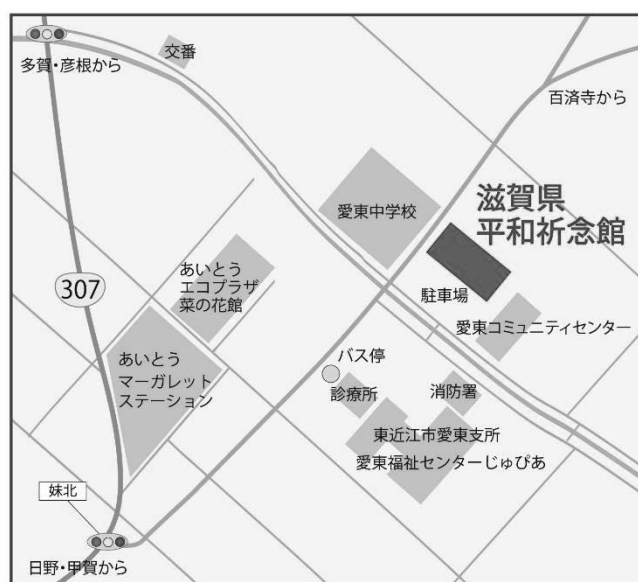
開館年月日 平成24年(2012年)3月17日

平面図



8 利用案内

入館料	無料
開館時間	午前9時30分から午後5時
休館日	月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館） 年末年始（12月28日～1月4日） ※その他、業務の都合により休館する場合があります。
駐車場	約50台（無料）
アクセス	



- ・名神高速道路「八日市 I C」から車で約10分
- ・JR 琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

9 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

(設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

(業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

(開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

(特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。
- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないと認められるとき。

3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付することができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。

滋賀県平和祈念館 年報 第9号 (令和2年度)

発行日 令和3年(2021年)9月30日
編集・発行 滋賀県平和祈念館
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地
TEL 0749-46-0300/FAX 0749-46-0350
E-Mail : heiwa@pref.shiga.lg.jp
印刷 株式会社デジ・プリント滋賀

